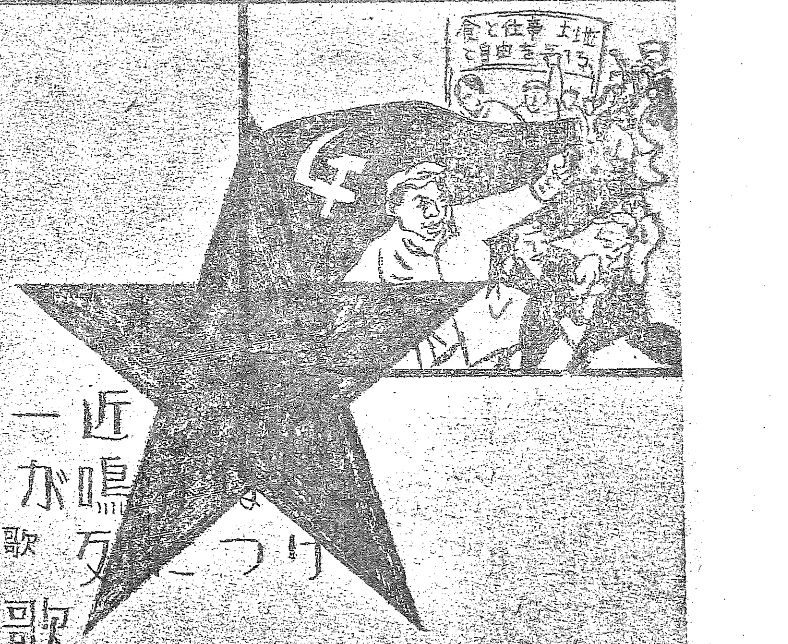
前哨の歌

第3輯 メーデー準備特輯


食と仕事 土地と自由を與へろ

メーデー近
赤衛軍歌 鐘が鳴 る
ピオニールの歌 ス つり
若者の歌
五月一日の朝

日本プロレタリア音楽同盟編・發行

3セン

日本プロレタリア音楽同盟機関誌
プロレタリア音楽 9セン
メーデー準備号が近く出るぞ！

歌曲集
前哨の歌
第一輯 インタナショナル・憎しみのるつぼ・流山
こゝだ・青い夜・赤軍航空隊の歌（全三）
第二輯（小林多喜二追悼特輯）
追悼の歌・同志小林労農葬の歌・三一五の歌・同志は倒れぬ・マルクスの歌・（全三）
第三輯（メーデー準備特輯）
以下続々出るぞ！ 直ぐ申しこめ！

不許復製　定價3銭（送料2銭）

印刷 昭和八年四月二十五日
發行 昭和八年四月二十八日

歌曲集 前哨の歌（第3輯）

編者 日本プロレタリア音楽同盟

東京市淀橋區上落合1の487並木方
發行兼印刷人 原太郎

東京市淀橋區上落合1の487並木方
發行所 日本プロレタリア音楽同盟 出版部

出版基金へ20銭集!!

4・16四週年を送り、今メーデーを前にして吾々は「前哨の歌」第三輯を諸君のたゆまざる斗争のたゞ中に送る。

「前哨の歌」は諸君の歌だ。斗争の歌だ。それは諸君の斗争の拍車ともなるだらうし、諸君の疲れを慰め明日の勝利を歌ひ、眠つてゐる仲間をも戦列に起たせるだらう。吾々はこの「前哨の歌」を続々刊行する。そして諸君の斗争生活の中に育て、更にその中からより優れた斗争の歌を生み、その歌声をプロレタリアートの勝利にまで高らかに響かせるであらう。

日本プロレタリア音楽同盟（P.M）の各支部支準（東京、大阪、京都、神奈川、上田.）には移動音楽隊がある。諸君は「前哨の歌」を手にすると同時に移動音楽隊を諸君の斗争の中に動員せよ。吾々の音楽隊は諸君の集会、ピクニックやストライキの時何時でも出掛けて行つて斗争の歌を唄ふ。ハーモニカを吹く、ヴィオリンを弾く。移動音楽隊は「前哨の歌」を諸君の戦列に正確に植え付けてくれる。そして諸君が諸君の職場内又は居住地に自主的音楽団を作る場合、進んで援助してくれる。

「前哨の歌」も之で第三輯目だ。諸君は「前哨の歌」にどう云ふ歌を入れて欲しいか、どこが悪いか、どうしたら良いか、諸君の同志的批判、意見、要求を聞かせてくれ。それらによつてこそ「前哨の歌」は真に諸君のものとなり得るのだ。

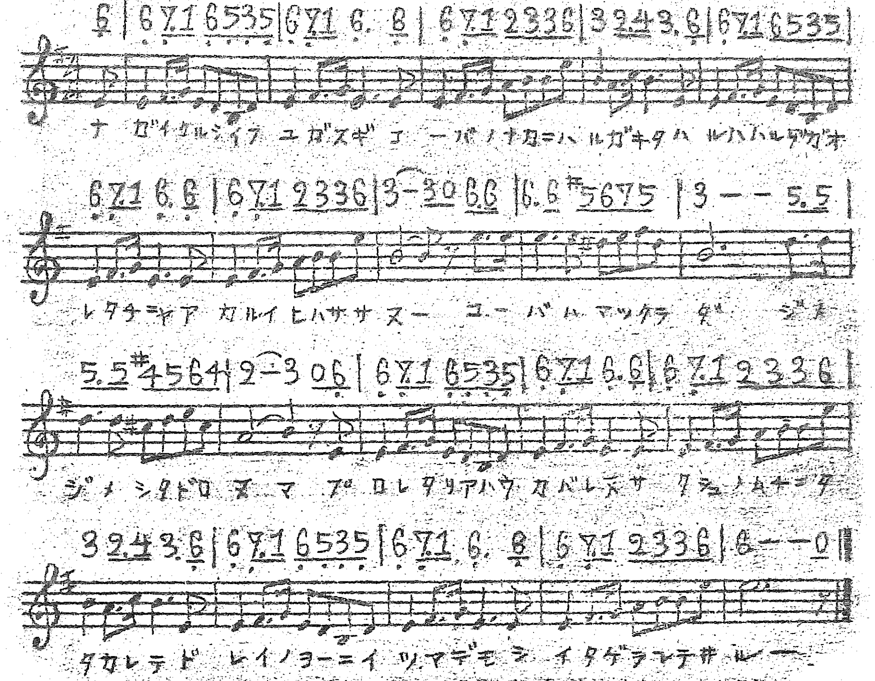
階級斗争の全線に高らかに響かせ「前哨の歌」を。
移動音楽隊を利用せよ
自立音楽団を作れ

1933.4

日本プロレタリア音楽同盟出版部

1. メーデー近づく

作詩 武者秀雄
作曲 原 太郎


6 | 6 7 1 6535 | 6 7 1 6. 6 | 6 7 1 2336 | 3 2 4 3. 6 | 6 7 1 6535 |
ナガイクルシイフユガスギ コーバノナカニハルガキタ ハルハハルダガオ
6 7 1 6. 6 | 6 7 1 2336 | 3 - 3 0 6 6 | 6. 6 #5675 | 3 - - 5. 5 |
レタチニャア カルイヒハササヌ コーバハマックラダ ジメ
5. 5 #4564 | 2 - 3 0 6 | 6 7 1 6535 | 6 7 1 6. 6 | 6 7 1 2336 |
ジメシタドロヌマ プロレタリアハウカバレヌ サクシュノムチニタ
3 2 4 3. 6 | 6 7 1 6535 | 6 7 1 6. 6 | 6 7 1 2336 | 6 - - 0 ||
タカレテドレイノヨーニイツマデモシイタゲラレテヰルー

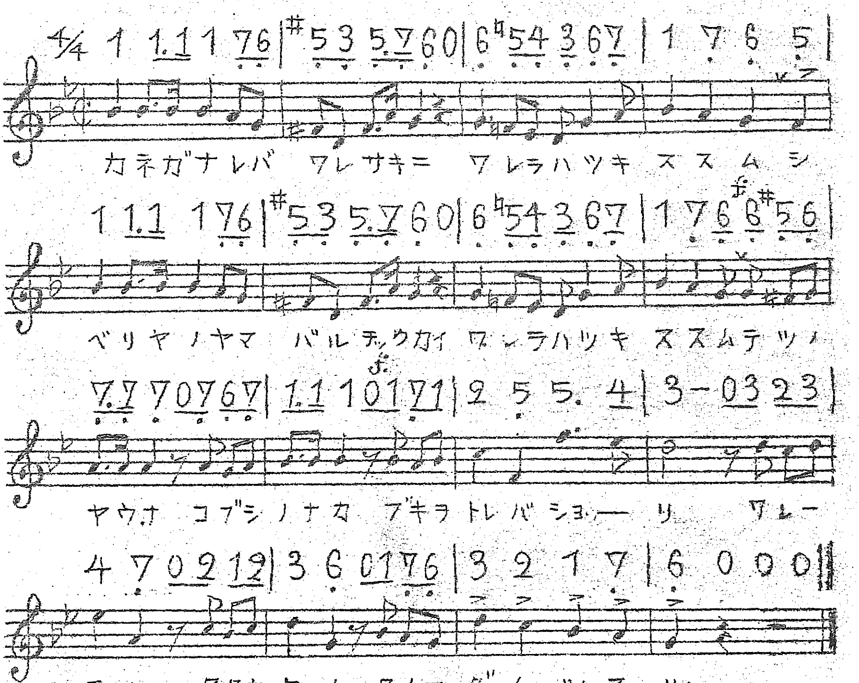
1
長い苦しい冬がすぎ 工場の中に春がきた
春は春だが 俺たちにや 明るい陽はさゝぬ
何時でも工場はまつ暗で ジメジメした泥沼
プロレタリアは浮かばれぬ 搾取のムチに叩かれて
ドレイの様にしひたげられてゐる

2
鎖を切らなきや浮ばれぬ プロレタリアの春は来ぬ
俺らの道は俺達が 皆で切り開こう
鬼共を（皆で）追掃へ 搾取の無い社会を
俺らの腕で築き上げ 地上にほんとの春を呼ば
目ざめろ兄弟、腕を組め！みんな腕を組め！

3、
五月一日メーデーだ 工場をすてゝ皆行かう
俺らの力団結の 威力を発揮しろ！
（奴等を）ふるへ上らせろ！
弾圧を蹴りとばせ！
俺らの正しい要求を 掲げて赤の旗の下
プロレタリアの記念日を 元気に斗へ！

2. 鐘が鳴れば

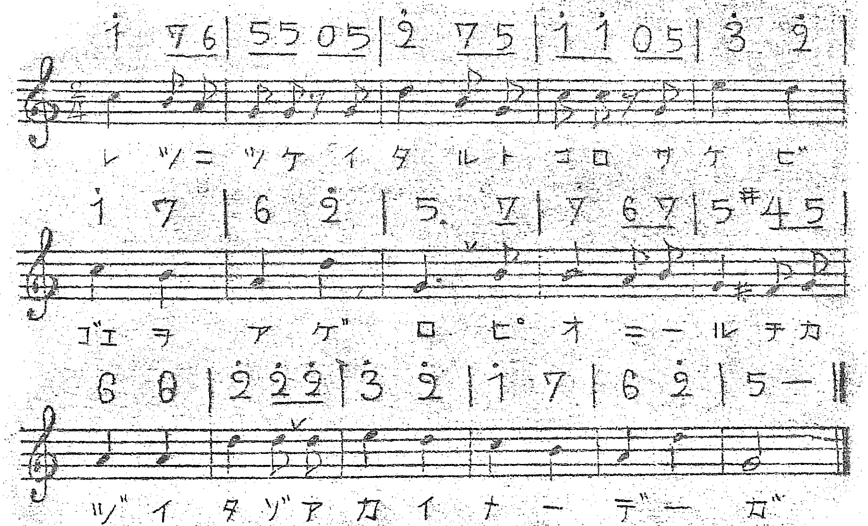
リヴェート同盟
赤衛軍・軍歌
新島繁・訳
山本正夫・編


カネガナレバ　ワレサキニ　ワレラハツキ　ススムシ
ベリヤノヤマ　バルチックカイ　ワレラハツキ　ススムテツノ
ヤウナ　コブシノナカ　ブキヲトレバ　ショーー　リ　ワレー
ラハ　タタカヒノ　タメニ　ダンケツスル

鐘が鳴れば我先きに
我らは突き進む
シベリアの山バルチッ
ク海
我らは突き進む
鉄のやうな拳の中
武器をとれば　勝利
我らは　戦ひのために
団結する

3. 列につけ

リヴェート同盟
ピオニールの歌
山本正夫・編


レツニツケ　イタルトコロサケビ
ゴエヲ　アゲロ　ピオニールチカ
ヅイタゾアカイナーデーガ

1. 列につけ！
いたるところ叫声を上げろ！
ピオニール
近づいたぞ赤いメーデーが！

2. 古い日のメーデーには　皆が叫んだ
ドレイの鎖を打ち切り
自由のために進め！

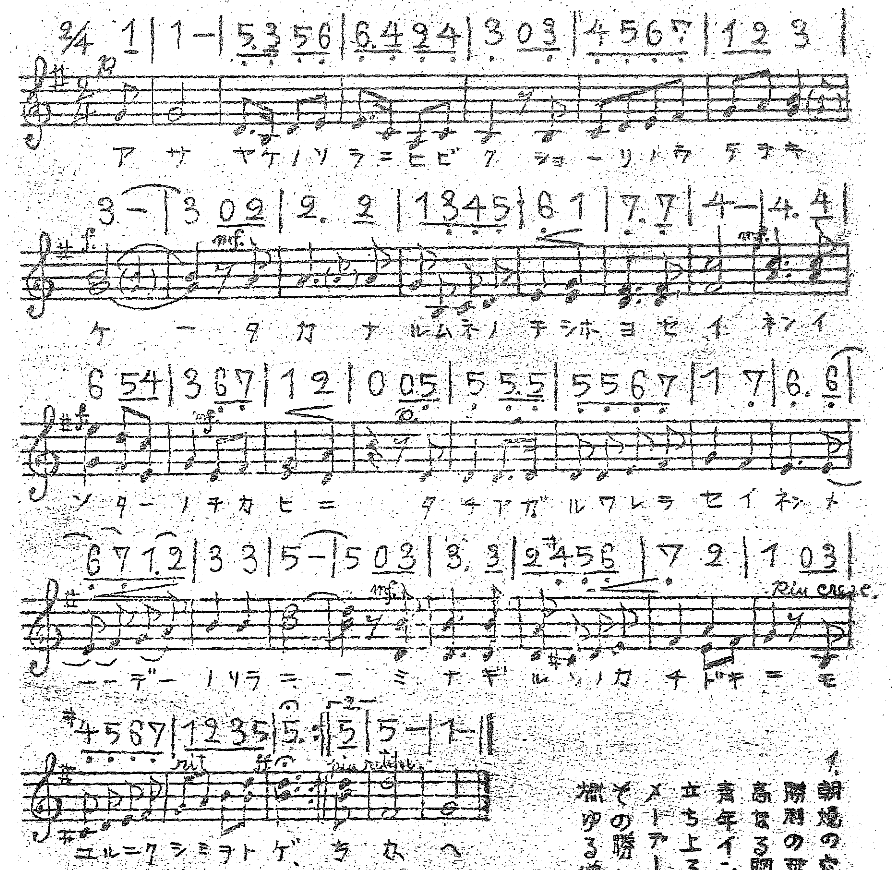
3. 北の国の子供達は　晴の戸を開けた
けれども　奴等の魔の手は
よその国で　暴れてる

4. 斗ひは　吾らがもの
叫声は元気
最後の斗ひへ進む
兄貴たちの後に

5. 列につけ！　いたるところ
ベルリン、モスコー・パリ、東京
ピオニール叫べ！　ほこらかに
「子供よ　団結せよ！」

4. 若者の歌

作詩・代田　央
作曲・和田節造

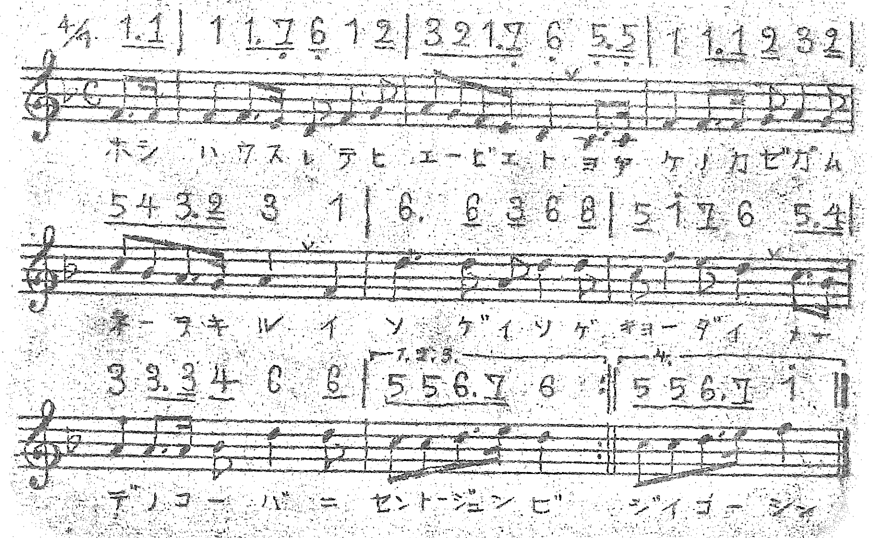

2/4 1 | 1 − | 5 3 5 6 | 6 4 2 4 | 3 0 3 | 4 5 6 7 | 1 2 3 |
アサヤケノソラニヒビク ショーリノウタヲキケ
3 − | 3 0 2 | 2. 2 | 1 3 4 5 | 6 1 | 7. 7 | 4 − | 4. 4 |
ケータカナルムネノチシホヨセイネンイ
6 5 4 | 3 6 7 | 1 2 | 0 0 5 | 5 5. 5 | 5 5 6 7 | 1 7 | 6. 6 |
ンターノチカヒニ タチアガルワレラセイネンメ
6 7 1. 2 | 3 3 | 5 − | 5 0 3 | 3. 3 | 2 4 5 6 | 7 2 | 1 0 3 |
ーデーノソラニ ミナギルソノカチドキニモ
4 5 6 7 | 1 2 3 5 | 5. :| 5 | 5 − | 1 − ||
ユルニクシミヲトゲ ラ ね へ
mf
f
rit
Piu cresc.
piu ritard.

1.
朝焼の空に響く
勝利の歌を聞け！
高なる胸の血潮よ！
青年インターの誓ひに
立ち上る吾等青年
メーデーの空にみなぎる
その勝どきに
燃ゆる憎しみをとげ

2.
世界の朝に起て
建設の星の守りに
今日メーデーの斗ひを！
青年インターの誓ひに
斗ひ抜く吾ら青年
メーデーの空にはためく
その赤旗に
建設の十月を誓へ！

5. 五月一日の朝

作詩・波立　一
作曲・原　太郎


4/4 1 1 | 1 1. 7 6 1 2 | 3 2 1. 7 6 5. 5 | 1 1. 1 2 3 2 |
ホシハウスレテヒエービエトヨアケノカゼガム
5 4 3. 2 3 1 | 6. 6 3 6 8 | 5 1 7 6 5. 4 |
ネーヲキルイソゲイソゲキョーダイメ
3 3. 3 4 6 6 | 5 5 6. 7 6 :|| 5 5 6. 7 1 ||
デーノコーバニセントージュンビ ジイコーシン

1.
星はうすれて冷え冷えと
夜明けの風が胸を切る
急げ急げ！兄弟！
メーデーの工場に戦斗準備！

2.
橋を渡ると朝空に
吾らのとりでそびえ立つ
ほえろほえろ！サイレン！
班の集合は午前五時！

3.
旗をかざしてかまの前
おやぢの演説て煙はく
集れ集れ！出発だ！
地区集合地駅の前！

4.
村林と別れて列に入る
工場の門をなだれ出る
どなれどなれ！スローガン！
赤色メーデー示威行進！